

我が家の家計簿

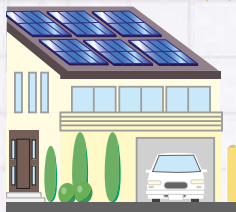
ズバット!

診断

マイホーム
購入検討中

家を建てる時は、太陽光発電を取り入れた方がいいの?

住宅購入に際して太陽光発電の設置の推進は国を挙げて進められているようですね?確かに最近コマershアルなどでも良く目にしますし、検討中の住宅メーカーさんからも勧められています。補助金制度などもあるみたいですが良く分かりません。



Q 太陽光発電ってお得なの?

A 長い目で見ればお得でしょう!

太陽光発電とは再生可能エネルギーのひとつで、自然の力により生まれるエネルギーのことです。エネルギー資源の少ない日本では特に注目されていて、平成24年7月から再生可能エネルギー固定価格買取制度がスタートしています。

まずは国の補助金制度を確認しましょう。補助対象となる太陽光発電システムの金額によって補助金額が異なりますので、(表1)をご覧ください。例を上げると、設置にかかる費用(初期費用・太陽光パネル本体価格・工事費)が1kW当たり40万円とした場合、住宅の屋根に発電能力5kWの太陽光を設置した

マイホーム購入を検討中

小倉北区在住 Tさんご家族
夫30歳(会社員)、妻28歳(保育士)、長女4歳(保育園児)

月間収入		【年間収入】	
夫(手取)	300,000円	賞与(夫)	500,000円
妻(手取)	180,000円	賞与(妻)	300,000円
計	480,000円	計	800,000円

月間支出		【現在の貯蓄】	
家賃(共益費・駐車場込)	72,000円	預貯金残高	6,500,000円
食費	40,000円	計	6,500,000円
外食費(娯楽費を除く)	20,000円		
光熱費(電気/ガス/水道)	21,000円		
電話代(携帯/固定)	16,000円		
通信費(NHK/ネット/ケーブル)	4,500円		
交通費(ガソリン/有料道路)	20,000円		
日用品代	10,000円		
衣料費	15,000円		
医療費(コンタクト含む)	3,000円		
雑費/その他	10,000円		
家族の娯楽費	20,000円		
お小遣い(夫)	30,000円		
お小遣い(妻)	25,000円		
学資保険	12,000円		
生命保険(夫)	15,000円		
生命保険(妻)	7,000円		
保育料	58,000円		
貯蓄	70,000円		
計	468,500円	【年間支出】	

冠婚葬祭費	70,000円
自動車税(2台分)	69,000円
車検代(2台分:1年平均)	90,000円
自動車保険料(2台分)	92,500円
火災保険	12,500円
贈答費用(お歳暮/お中元)	100,000円
貯蓄	300,000円
計	734,000円



(株)インシュアランスバンク
ライフプランナー

草刈 隆男

プロフィール

1978年12月25日生まれ A型
外資系保険会社を経て、お客様へのサービスの枠を広げるため総合保険代理店へと転身。幅広い年齢層の顧客へライフプランニングをしており、2か月先まで紹介予約が入る人気プランナー。お世話になっている地域に、恩返しをしたいと消防団に所属。社会貢献にも力を入れている。

メールアドレス: info@i-bank.jp

とすると、【2万円×5(kW)≒10万円】の補助を受けられます。

次に導入コストですが、現在国内外のメーカーが太陽光発電事業に乗り出していて、大半のメーカーが(表1)の補助金制度を利用するために、1kW当たりの設置価格を41万円以上もしくは50万円以下に設定しています。例えば、発電能力5kWの太陽光を設置する際にかかる導入コストの目安は、【41万円×5(kW)≒205万円】〜【50万円×5(kW)≒250万円】くらいでしょう。太陽光の導入を検討されている方は参考にされて下さい。

最後に平成25年度の売電価格ですが、こちらは設置する発電容量(kW)により売電単価が異なりますので、(表2)を参考にして下さい。今年度中に設置すれば、10kW未満の一般家庭用システムで売電単価は1kW当たり38円です。単価保障期間の10年間は、この売電単価に、売電容量を合わせたキャッシュフロー表を作成することをお勧めします。具体的に設置容量など分かった際にはまたご相談下さい。

1kW当たりの補助対象経費(税別)	1kW当たりの補助金単価
2万円以上41万円以下	20,000円
41万円以上50万円以下	15,000円

*募集締切は平成26年3月31日 (表1)
*補助金申込額が予算範囲を超えた場合、その前日をもって受付停止となります。

発電容量	10kW以上	10kW未満	10kW未満(ダブル発電)
売電単価	37.8円(36円+税)	38円(税込)	31円(税込)
単価保障期間	20年間	10年間	10年間

*平成25年度の売電単価
*売電単価は年度毎に見直し、値下げの傾向にあります。(表2)

で家庭内の余剰電力を買い取ってもらえます。

補助金制度のことはご理解いただけましたでしょうか?また、太陽光の設置条件や日照条件により導入コストを回収できるまでの期間